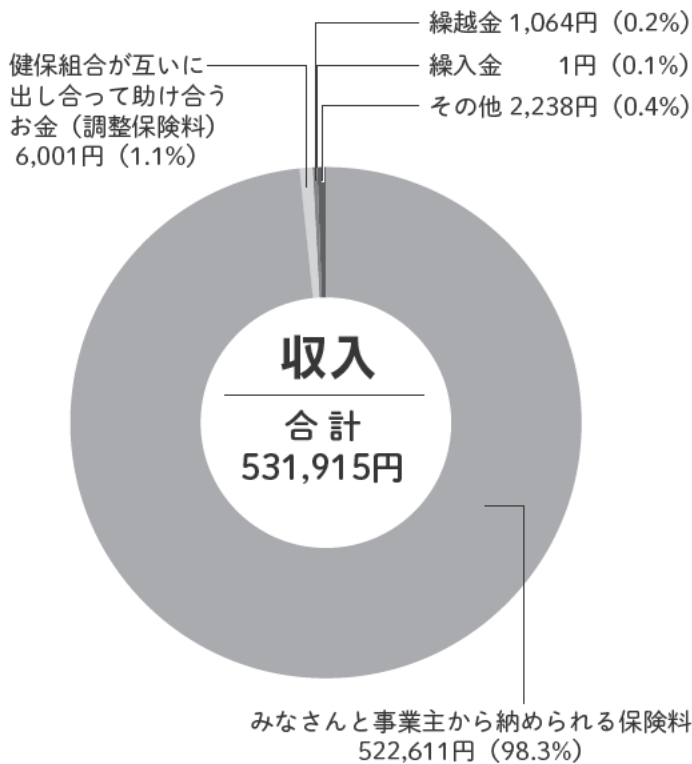


令和7年度予算のお知らせ

赤字から回復し経常黒字予算に
保険料率は据え置きにて運営

当健保組合の令和7年度予算がまとまりましたので、概要をお知らせいたします。



※端数処理の関係で一部合計の合わない場合があります。

わが国の経済は、好調なインバウンド需要と個人消費の増加により、景気回復傾向にあります。健保組合を取り巻く状況は、少子高齢化により、逼迫した財政状況から未だ脱却できていません。

前年度は健康保険証を廃止し、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行しました。これによる医療サービスの質の向上と、医療費の削減に寄与することが期待されています。しかし、今年度は「団塊の世代」がすべて後期高齢者となる「2025年問題」に直面する年であり、健保組合の財政負担への軽減には十分とは言えません。国民皆保険制度を維持するためには、全世代で社会保障を支える仕組みの実現へ、さらなる施策が急務です。

今後も厳しい状況が続くことが予想されるなか、当健保組合の令和7

年度予算がまとまりました。予算総額25億円、経常収入24億6066万円、経常支出24億6056万円となり、差引10万円の黒字を見込んでいます。

健康保険予算

今年度の健康保険料率については、内訳に変動はあるものの、前年度同様千分の110に据え置き、予算を編成いたしました。

収入面では、みなさんと事業主から納めていただく保険料は、前年度より7471万円増の24億5627万円を計上しています。支出面では、みなさんが病気やけがをしたときの医療費などにあてられる保険給付費に、同比4863万円減の12億9021万円、高齢者医療制度を支える

令和7年度 収入支出予算概要

健康保険

●収入

科 目	予算額 (千円)
みなさんと事業主から納められる保険料	2,456,274
健保組合が互いに出し合って 助け合うお金 (調整保険料)	28,204
繰越金	5,000
繰入金	1
その他	10,521
合 計	2,500,000

●支出

科 目	予算額 (千円)
健保組合を運営するための事務費	50,876
病気やけがや出産をしたときに 健保組合が負担する保険給付費	1,290,210
高齢者の医療に使われる納付金	997,328
健康づくりに使われる保健事業費	118,500
健保組合が互いに助け合うための拠出金	28,204
その他	4,882
いざというときのための予備費	10,000
合 計	2,500,000

介護保険

●収入

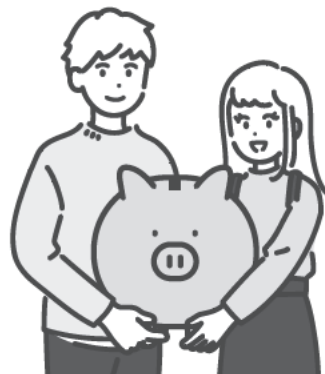
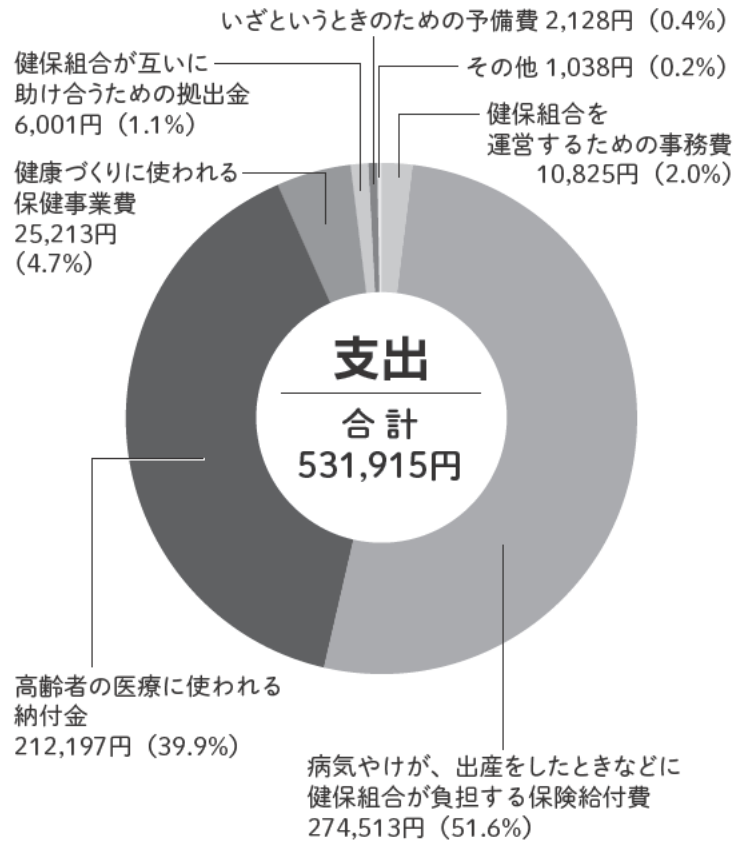
科 目	予算額 (千円)
みなさん※と事業主から 納められる介護保険料	223,760
繰越金	6,000
雑収入等	40
合 計	229,800

●支出

科 目	予算額 (千円)
国に納める介護納付金	226,868
介護保険料還付金・積立金	332
予備費	2,600
合 計	229,800

※介護保険第2号被保険者たる被保険者等

被保険者1人当たりでみた



ための納付金に同比6146万円増の9億9733万円をそれぞれ見込んでいます。今後も高齢化は進むことから、納付金の増加は避けられませんが、みなさんとご家族の健康づくりにあてるための保健事業費は同比約430万円減の1億1850万円と、縮小して予算を組んでおります。

介護保険予算

健保組合は、介護保険第2号被保険者（40歳以上65歳未満の方）に納めていただいた介護保険料を介護納付金として国に納めています。今年度は、介護保険料率を前年度の千分の17から千分の16に引き下げて予算を編成いたしました。収入総額2億2980万円となり、このうち2億2687万円を介護納付金として国に納付いたします。

健保組合を取り巻く厳しい状況をご理解いただき、ご自身とご家族の健康づくりと、医療費の節減にご協力くださいますようお願いいたします。

以上の結果、保険料による収入だけでは支出をまかないきれないことから、繰越金より500万円を繰り入れて、収支の均衡をとることとなりました。

健保組合は、加入者のみなさんの病気やけがや出産などに対して「保険給付」を行い、みなさんの生活の安定と福祉の向上のために「保健事業」を行う公法人です。しかし、高齢者医療制度への納付金の負担が重すぎるため、本来の役割を十分に発揮することが難しい状況に陥っています。